

# 令和6年度 特養事業報告書

特別養護老人ホーム 彦岳の太陽

## 《 実施目標 及び 実施状況と今後の課題 》

### 1 運営の安定化

令和6年度の稼働率は、4月に70%台であったが、10月に新たな体制となって以降少しずつ上昇してきている。令和7年1月には84%を超えてきた。これは、職員が一丸となって対応してきた効果が少しずつ数字にも表れてきたと思われる。今年度についてもこの傾向は続いており、今後も稼働率の向上に向けて努力していきたい。

また、入所者の介護度が平均4を超え、重度化はますます進行してきている。昨年度も数名の看取り対応を行っており、今後も家族や担当医と相談しながら対応していき、利用者およびご家族の満足度の向上に努めていきたいと考えている。

### 2 介護の質の向上

接遇の向上については、入所者の尊厳を保持したケアを目指しており、今後も継続していきたいと考えている。ノーリフティング委員会を立上げ、抱えないケアを目指して活動を行っている。これまで抱えていた利用者様に、フレックスボードやスライディンググローブ等を用いることで職員の介護負担の軽減を図っている。また、腰痛予防のため連携医療機関の療法士と連携し介護方法の見直しによる腰への負担軽減にも取り組み、入所者の安全確保と職員の負担軽減を図っている。

令和6年度から取り組んでいる口腔衛生については、歯科医師、歯科衛生士の指導の助言のもと各入所者に応じたケア用具の選定など取り組みを行っている。

### 3 人材育成・人材確保

令和6年4月に、県外からの移住者やミャンマーからの留学生が来るようになる。各部署において対応を行い、育成を図った。令和7年度に入ってから数名の職員が入職しており、引続き育成に努めていきたい。

### 4 役割の明確化

役職者(施設長、管理者、主任等)が、それぞれ業務の見直しや効率化、職員教育、責任等の役割の明確化に取り組んできた。互いの職種が協力することで、質の高いサービスが提供できるようにしていきたい。今後も利用者が安心安全に利用できるようなケアを目指していきたい。